

---

# 初恋

黒猫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

初恋

### 【Nコード】

N5626B

### 【作者名】

黒猫

### 【あらすじ】

ある一人の女子高生のたった三ヶ月間の恋愛を書いた。叶わない恋だったけどいろいろな意味では初恋と言える少し切ない話。でも、得たものはたくさんあり、とてもいい恋の話し。

## 初恋：プロローグ

本当に大好きでした。

頑張ってください。

忘れないで下さい。

幸せになってください。

死なないでください。

ちゃんと食べて下さい。

気持ち分かってくれてありがとう。

話し聞いてくれてありがとう。

話してくれてありがとう。

付き合ってくれてありがとう。

好きになっけてくれてありがとう。

気使ってくれてありがとう。

迷惑かけてごめん。

何回もごめん。

しつこくしてごめん。

とにかくごめん。

でも今でも大好きだよ。

こんな気持ちになったの初めて。いろいろな想い出忘れない。絶対に忘れないから！！

初恋は小一の時。でも本当の恋を知ったのは高二になってから。ある意味では初恋。ありがとう。

大好きだった人へ

## 初恋：第一章

うちの初恋は小学一年生の時だった。

でも、付き合いたいとか

そゆう好きじゃなくて

友達として好きだっただけ。

まわりの友達にはみんな好きな人がいて、自分だけいないのはなんだか恥ずかしく感じた。

だから適当に男友達を好きな人に見てみただけ

中学生になっても

彼氏なんて出来ない。全然モテないから

でも、中学三年生の時に、運動会の日に告白された。初めてのことに嬉しくなって付き合うことにした

好きでもないのに

結局長続きはしなかった

想いを告げたら恥ずかしくなっちゃったみたいで、二人とも全然話さなくなっちゃったんだもん。

自然消滅ってやつだね。

高校に入ってから、バイトと勉強に励むばかりで恋なんてして暇ない。

好きな人いたけど、告白して失敗したからやる気なし。

とゆうか、恋って何？好きってどんな感情？

そんな疑問があった。

この頃は本当の恋なんて知らなかったからね。

うちが高校一年生の時

存在こそ知らなかったけど、あんたは高校二年生だったんだね。

元力ノのこと引きずって悩んでた頃だったのかな？

今思えばこの時にテニス部に入ってたらよかったのかな？もっと早く知り合えてたのかな？そんなことないよね。

まあ、高校一年性はなんとなく過ぎていった。

そして、高校二年生。

新しいクラスになって早速タイプな人発見！！好きになりました。

一目惚れってやつ？

でも、後々にこいつは最低な奴だって分かった。

何日かして部活動紹介の日。

特に面白かったのが演劇部。

「次の部紹介は演劇部です。」

その声と同時にステージの端の方に一人の女子生徒が立った。

「ここ 高校の演劇部では新一年生が見学に来ています。」

ナレーションとともに、ステージに4、5人が現れた。

学ランを来た女子

ジャージ姿の女子

ミニーの人形と戯れる男子

制服姿の女子高生

女子用の制服を着て女装している男子

まるでちんどんや

説明されなければいったいどんな場面かさえ分らない

話しの内容は、おかしな演劇部に新一年生が見学に来る  
そこで素敵な先輩方に憧れて入部するまでのお話  
でも、やってることがかなりバカでとにかく笑えた。

この時劇出てたでしょ？あんたの存在を知ったんはこの時。

それから、演劇部の見学に行った。

一年の時から興味あった部活だし、友達から誘われてたから見学に行くことにした。

演劇部は見学期間中は講演をやってる。

今年は『ごはんの時間2』って劇だった。

内容は、共学の高校だけど、女子の方が男子より圧倒的に人数がいて、男子が肩身狭い思いをしてる。そんな高校のあるお昼ご飯を食べている時の会話に視点を置いた物語

うちは最前列に座って見てた。

あんたの目の前であんたは、でこ分け眼鏡のガリガリ君だったね。

まわりであんたのことかっこいいって言ってる人いたよね？

うちは正直どこが？！

って思っちゃった。

でも演技は面白かった。

この後文化祭が終わってからうちは、演劇部に入部した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5626b/>

---

初恋

2011年1月29日10時52分発行